

3) 0.5%ハイアミンに浸したもの

使用時間	細菌数
6° ~11°	0
11° ~16°	0
16° ~21°	0

4) 0.3%ハイアミンに浸したもの

使用時間	細菌数
6° ~11°	1.9
11° ~16°	1.833
16° ~21°	1.6

【おわりに】

1年間この研究にとり組んで来たが、この結果、オシボリは、まとめて1日分作る。皮膚に対する影響や経済性も加味し、0.3%のハイアミンに10分以上浸してその後作る。クリーニングカートの電源を常時入れておく事にした。ヒビテンは、実験の結果、0.01%、0.02%ともに無数に細菌が培えた事や、粘膜に及ぼす影響も考えて、廃除した。これからも、皮膚に及ぼす影響等も観察しながら研究を続けて行きたい。

13、筋ジストロフィー者の看護管理に関する研究（その3）

国立療養所下志津病院

大塚 加津子

筋ジス研究会他13名

当院では、高等部を卒業した患者が増えてきたこと、患者側から成人病棟を希望すると云う声もあり、筋ジス病棟の傾斜配置の是非を検討してきた。その方法として、患者、職員、父兄はどのように希望するか、他施設では、どのように患者配置が行なわれているかアンケート調査を実施した。

当院の患者、職員、父兄に行なったアンケート結果は表1のようになり、成人病棟を希望すると答えている中から主な理由として、

1. 同年令の方が話しが合う、行事等まとまりやすい。
2. 成人としての本人の自覚も出てくる、年令に応じた接し方ができる。
3. それぞれの年令に応じた生活ができる。

等が挙げられている。希望しない人の理由として、

1. 大きい人達と一緒に遊びたい。
2. 勉強等いろいろ指導してもらえる。
3. 卒業生だけになると、暗い雰囲気になる。
家庭的な雰囲気がない。
4. 看護者の負担が大きい、腰痛問題。等、

(表1)

(昭和51年～52年)

	回収率	成人病棟を希望する		成人病棟を希望しない		わからない	
小学生	94 (%)	15 (名)	45 (%)	17 (名)	52 (%)	1 (名)	3 (%)
中学生	89	21	68	8	25	2	6
高校生	96	13	54	3	13	8	33
卒業生	100	6	86	0		1	14
職員	87	10	19	42	78	2	4
父兄	89	75	77	19	20	3	3
計		140	57	89	36	17	7

次に他施設の患者配置の状況だが、20施設に対し、アンケートを実施した。表2に示したように傾斜配置を行なっている施設は10施設あるが、殆んど学年、年令別で分けられている。

(表2)

(昭和52年、回収率100%)

傾斜配置を行なっている施設		傾斜配置を行なっていない施設	
年令・学年別	岩木、西多賀、宇多野、兵庫中央、松江、徳島、再春荘、川棚、南九州	傾斜配置を考えたことがある	東埼玉、刀根山、医王、(下志津)
障害度別	鈴鹿	傾斜配置を考えたことがない	八雲、新潟、箱根、西奈良、西別府、原、長良

傾斜配置をした利点としては、

1. 生活内容、時間帯が統一できる。例えば食事、消灯時間、行事等。
2. 友達が得やすい。

欠点として、

1. 病棟内に明るさがない、家庭的な雰囲気がない。

2. 職員の配置がうまくなされていない。介助時の疲労、腰痛が大きい。
3. 入院の際のベッドの配置困難。等が挙げられている。

傾斜配置を行っていない施設は、当院を含めて11施設あり、傾斜配置を考えたことがあると答えたのは、3施設あったが、何故施行されていないか。

1. 病棟構造上の問題。
2. 職員配置の問題。
3. 病棟内の雰囲気の問題、等が挙げられている。

傾斜配置に関する考え方は、ジュシャンヌ型のように、割に進行の早い病型が大半を占めている所と、支帯型、その他の類似疾患が多い所では、多少違ってくように見受けられる。

初めから成人病棟として、設立された所では、成人病棟開棟時においては、それ程、問題は出なかったようだが、時が経つにつれて、患者数のバランス、職員の疲労、腰痛等、様々な問題が出されている。その解決策として職員のローテーション、入院患者の調整等が報告されている。

当院の患者、職員、父兄に行なったアンケートでは、成人病棟を希望する57%と大半は越しているが、このアンケートを実施してから、かなりの時が経っていること、卒業生が増え、考え方も多少変わってきているように見受けられること等から、今後意見交換等を行ない更に検討を重ねていきたい。

14. 車椅子及びベッド座位で使用可能な改良オーバーテーブル

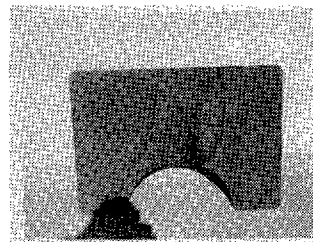
国立療養所原病院

岡田 成子 研本 米子
吉岡 美智子 他一あゆみ病棟一同

〔はじめに〕

車椅子生活のPMD児の食事、勉強、手芸等に当病棟では、今まで写真のようなベニヤ板を使用して大変重宝しています。然し、電動車椅子では、このベニヤ板がとりつけられない。又、都合で手芸等一時中断するたびに片付けなければならない難点もあり、患児も

写真1



↓ **検索用テキスト** OCR(光学的文字認識)ソフト使用 ↓
論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります

当院では、高等部を卒業した患者が増えてきたこと、患者側から成人病棟を希望すると云う声もあり、筋ジス病棟の傾斜配置の是非を検討してきた。その方法として、患者、職員、父兄はどのように希望するか、他施設では、どのように患者配置が行なわれているかアンケート調査を実施した。